



ママドクターの会



女性医師ネットワークの先駆けとして、13年にわたり活動し、
女性医師の育児と仕事の両立を支援



【設立】平成21年11月

【代表者】大西 由希子

【活動場所】都内

【事業概要】子育て中の女性医師の紹介制による有志団体。定期的に講演会やメーリングリストを通じて女性医師が交流

背景・経緯

○女性医師が出産や介護などのライフイベントを経ながらキャリアも継続していく際に、それぞれの所属組織ではロールモデルが少ないという課題を代表者自身が経験

○課題克服の工夫を共有し、励まし合えるネットワークを作るため、平成21年に会を立ち上げ

取組内容

【女性医師のネットワーク作り】

- ・子育て中の女性医師が講演会や交流会、メーリングリストを通じて交流を図る
- ・対面開催のときは託児を設け、コロナ禍においても学びと交流を止めないために、オンラインで講演会等を継続（年に3～4回、13年間で計41回）
- ・様々な世代、所属（大学病院、一般病院、開業医、研究医など）、専門領域の会員を擁し、互いに相談できる、多様性に富むネットワークを構築
- ・地域活動への参加を推奨し、会員が保護者会やPTAなど地域での活動にも積極的に参加



講演会の様子



講演会中の託児室

効果

- 会員数14名(2009年) → 155名(2022年)
- 会を通じて様々なロールモデルに出会い、アドバイスを得られることで、女性医師の育児と仕事の両立を支援(2人以上の子供をもつ会員: 75%)
- モチベーションやキャリア向上意識が高まり、会員の約40%が大学教授や病院の院長・部長職など組織のリーダーとして活躍し、働くママのロールモデルに